平成２８年12月1日発行

教誨師連盟だより

No. 52

発行所
(公財)全国教誨師連盟
〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail:zenren@soleil.ocn.ne.jp

全国教誨師連盟創立六〇周年記念大会を終えて

公益財団法人全国教誨師連盟 理事長　近藤哲城

今年は熊本地震を始め、全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害が出た年となりました。被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、去る九月六日・七日、新宿の京王プラザホテルにおきまして、全国教誨師連盟創立六〇周年記念大会が開催されました。ご来賓各位の皆様、法務省の皆様、及び、遠近各地よりお集まりいただきました教誨師の皆様に心より御礼申し上げます。大会が成功裏に終了しましたことは、計画を立てご準備を頂きました東京矯正管区の皆様、東京都教誨師会の皆様のお蔭と深く感謝申し上げます。

又、大会当日にご講演頂きました、杏林大学医学部名誉教授 佐藤喜宣先生、東京大学名誉教授 姜 尚中先生、法務省矯正局長の富山 聡先生にはお忙しい中、私たち教誨師のために時間を割いてご指導いただきましたことに深甚の謝意を申し上げます。参加者それぞれの声を聴きますと、大変有意義なお話を頂いたと感激致しておりました。ご講演頂きました内容は私たち教誨師がそれぞれに持ち帰り日々の教誨の中で生かすことができれば先生方への恩返しとなると思います。

戦後六〇年の永きに渡り、教誨師が信頼され宗教教誨が続けられましたことは、諸先輩方の真摯な取り組みの賜物と、深く感謝し、敬意を表しますと共に、連盟一〇〇年に向けての新たな思いに身が引き締まる心地が致します。宗教教誨の大切さを私たちがしっかりと心に刻みながら、被収容者の一人ひとりに寄り添い、より真剣に教誨に取り組んで行かねばならないと深く感じた次第であります。

現代社会こそ宗教が必要とされているのではないでしょうか。そのことをそれぞれが自覚し心のつながりを大切に考えて参りたいと思います。

最後に、私事ではありますが、体調不良により記念大会を欠席せざるを得なくなり、誠に無念でございました。大会運営に際しまして、皆様には大変なご迷惑とご心配をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。

教誨師の皆様にはくれぐれもご健康にご留意なされ、今後もますますご活躍いただきます様お願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

連盟本部

連絡先　全国教誨師連盟
☎〇三―三三八九―七四一一

◎「役員等改選」について

六月一〇日開催の評議員会において、評議員、理事、監事の任期満了に伴う改選が行われました。任期は平成三〇年六月に開催される評議員会までです。

このたびの改選で、教誨師以外の評議員、理事各二名が選出されました。これにより、連盟の運営に外部からの目線によるチェックが入ることになりました。

外部評議員　矢口　英一（公益法人協会専門委員）
　　古川　高志（元名古屋矯正管区長）
外部理事　梶木　壽（全日本柔道連盟常務理事）
　　吉田　秀司（元法務大臣官房審議官）

六月一六日に臨時理事会を開催し、理事長、副理事長の改選が行われました。

理事長　近藤　哲城（再任）
副理事長　舎奈田経夫（再任）　中川　文隆（新任）
　　石川　宣（再任）　山根　眞三（再任）

◎「内閣府立入検査結果」について

昨年一〇月一八日、公益財団法人移行後第一回目の内閣府立入検査を受けたことは、昨年のこの紙面で報告した通りです。

指摘を受けた点についてつぎのとおり是正されました。

①　この建物・事務所の賃貸関係書類について

平成二七年一一月一二日に公益財団法人矯正協会と、矯正会館の一部を全国教誨師連盟が事務所として無償で使用することについて「覚書」を取り交わしました。

この覚書には、矯正協会が全国教誨師連盟の行う公益目的事業に賛同していること、これまで長期にわたり全国教誨師連盟が矯正会館の一部を無償で使用していたことを確認してあります。

事務室ばかりではなく不随して使用する諸設備（便所・給湯室・会議室等）も含めての無償使用で、更に光熱水料についても矯正協会負担としております。

②　謝金に関する規定の整備について

平成二八年五月一三日の理事会において「講師及び原稿執筆等謝金に関する規程」が制定されました。

この規程には、講演、司会、パネリスト、原稿執筆についての謝金額を定めています。例えば講演謝金の場合、一時間当たり五万円～三〇万円としており、特別な場合は二倍の金額まで増額することができるようになっています。

各地で行われる研修会の講師に対する謝金はすべてこの規程に基づいて支払うようになります。なお、平成二九年四月一日から施行となっています。以後の講師謝金額はこの規程に抵触しないようにご注意願います。

③　旅費の規程について

平成二八年五月一三日の理事会において規程の一部改正を行い、対象者を教誨師、役員、職員、教誨師連盟の用務につく部外者としました。また、役員等については日当を支払わないこととしました。

④　役員報酬に関する定款の規定について

平成二八年六月一一日の評議員会において、従前、役員等に対し日当として支給していた金額（一日当たり二千二百円）を役員報酬として支給することとし、定款の関係条文の一部改正を行いました。

⑤ 定款の規定の不備について

代表理事・業務執行理事が理事会に対しておこなう職務執行状況報告の回数について従前不明瞭であったのを一部改正により是正しました。

⑥ 会員規程等の制定について

講評での指摘ではありませんが、調査の中で「まだ定められていない『会員規程』等諸規定を早急に制定するように言われました。会員規程については、現在誠意検討しており、平成二九年六月開催の評議員会に付議し、制定するようにしたいと考えています。他の諸規定についても早急に理事会に付議できるよう準備を進めています。

◎「教誨師名簿」の発行について

「教誨師名簿」は二年ごとに発行しており、平成二九年度が発行年となります。できるだけ七月中には発行できるようにしたいと考えています。

名簿作成のためのデータ確認は特に行いませんので、現在の名簿に誤りがある方や住所・電話等を変更している方は施設を通じて全国教誨師連盟までご連絡願います。名簿作成の基となる全国教誨師連盟が所有するデータを修正します。

◎「教誨マニュアル」の改編状況について

教誨マニュアル作成委員会による改編作業は、少し遅れ気味でありますが、年度内発刊に向けて誠意努力しています。

別冊の事例集については、平成二九年度になります。

◎「広報委員会」

広報誌「教誨あれこれ」創刊号とポスターを作成することができました。また「教誨あれこれ」二号を、この「教誨師連盟だより」とともにお届けできることになりました。

「教誨」「教誨師」という言葉、文言が社会に十分認知されているとは言い難い現況を踏まえ、教誨師・教誨師連盟の活動内容を積極的に広報し、社会に広く認知されることが必要であると考え、広報誌・ポスターを作成していますので、この趣旨をご理解の上、大いに活用していただきたく存じます。矯正展、講演、檀家・信者等への配布に必要な場合は全国教誨師連盟事務局までご一報ください。速やかに送付いたします。

◎「教誨師之証」の更新について

「教誨師之証」を発行して五年が経過し、間もなく多くの方が有効期限である「平成二九年三月三一日」を迎えます。更新手続きに必要な誓約書（更新）及び写真は施設教誨師会で取りまとめて全国教誨師連盟に提出してもらうことになっています。更新がなされませんと自動的に解嘱となりますのでご注意願います。

◎「賛助寄附金」について

従前連盟役員が主に募金活動をしていた「個人賛助金」について、検討委員会を立ち上げ、七回にわたり会議をした結果、「賛助寄付金」と名称を変えて募金活動をすることになりました。これは三月に開催される理事会の決議を経て実行に移される予定です。

◎「全国教誨師連盟創立六〇周年記念大会」―第三六回全国教誨師大会―

平成二八年九月六日（火）・七日（水）の両日、東京矯正管区教誨師

連盟及び東京都教誨師会が担当となり、東京新宿、東京都庁を目前に位置する「京王プラザホテル」にて、全国教誨師連盟としての節目となる創立六〇周年記念大会が開催されました。

台風の影響も懸念されましたが、無事天候も大きくくずれることなく乗り切ることができました。

本大会は公益財団法人に移行以後初めての全国大会であり、参加者総数も約七〇〇名ということで、開催準備期間としてかなりの時間を掛け、万全を期しました。

「希望へ！　～生きぬく力の発見～」をテーマとし、希望と対極の「心の闇」にスポットを当て、ここに救いの光を照らす努力と研さんを重ねることを目的としました。

第一日目、午前一一時より大会宣言文起草委員会、一二時受付開始、一時開会式、記念式典、基調講演、法務省矯正局長　富山 聡 様による「矯正の現状」。記念講演Ⅰ、杏林大学医学部名誉教授　佐藤喜宣 先生による「子ども虐待防止と臨床法医学」。続く祝賀会には、佐藤先生、翌日ご講演の姜先生にもご参加願いました。余興は、和楽器オーケストラ「あいおい」。

二日目は、九時より記念講演Ⅱ　東京大学名誉教授　姜 尚中 先生による「『二度生まれ』の人生」。全体協議会、閉会式にて終了。

多くの方々のご助力により、大きなトラブルもなく円成できたこと、参加者各位にもご協力いただいたことに感謝申し上げます。

管区関係施設職員様、教誨師各位、特に東京都教誨師会事務局、府中刑務所教育の皆様には一方ならぬご尽力を賜わり、紙面をかりて深く感謝申し上げます。

以上、雑駁ではありますが、これをもって大会の御報告とさせていただきます。

大会研修部長　金嶽　宗信

管区別委嘱解嘱状況表

27年度	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合　計
委 嘱	5	5	11	14	10	8	2	12	67
解 嘱	5	5	16	13	9	5	1	13	67
死 亡	1		3	2	1	5		5	17
増 減	-1	±0	-8	-1	±0	-2	+1	-6	-17
末人員	142	136	470	200	285	220	83	298	1,834

平成28年11月20日現在

28年度	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合　計
委 嘱	4	3	12	9	15	6	4	16	69
解 嘱	4	2	2	4	9	4	4	4	33
死 亡		1	2	1		1		1	6
増 減	±0	±0	+8	+4	+6	+1	±0	+11	+30
末人員	142	136	478	204	291	221	83	309	1,864

管区別・宗教系統別教誨師人員表（平成28年11月20日現在）

	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	合　計
神道系	9	22 (2)	50 (3)	20	40 (5)	36 (2)	13	35 (1)	225 (13)
天台系	1	3	23	0	11	1	0	1	40
真言系	14	7	62 (2)	14	20	19	13	11 (1)	160 (3)
浄土系	60	43 (2)	123 (2)	96	113 (3)	72	20 (1)	152 (5)	679 (13)
禅宗系	24	25	59 (1)	17	11	20	5	28	189 (1)
日蓮系	8	8	41 (1)	20 (1)	22 (1)	24	7	18	148 (3)
諸　教	12	11	49	16	28 (1)	18	8	21 (1)	163 (2)
キリスト系	14	17	71 (6)	21 (2)	46 (7)	31 (3)	17 (1)	43 (4)	260 (23)
合　計	142	136 (4)	478 (15)	204 (3)	291 (17)	221 (5)	83 (2)	309 (12)	1,864 (58)

（　）書きは、女性の再掲である。

教宗派別委嘱解嘱状況表（平成28年11月20日現在）

教宗派名	平成２７年度			平成２８年度		
	委嘱	解嘱	死亡	委嘱	解嘱	死亡
神社本庁	8	7	1	6	3	
大　本	2	1	2	2	1	
金光教		1		4	3	
天台宗			1			1
高野山真言宗		2		3	1	
真言宗善通寺派				1	1	
真言宗智山派	1		1	2	1	
真言宗豊山派	2					
浄土宗	3	2		1	2	1
浄土宗西山禅林寺派				1		
浄土真宗本願寺派	14	12	5	11	3	
真宗大谷派	8	10		7	5	
臨済宗妙心寺派	1			1	1	
曹洞宗		5	2	4	1	
黄檗宗	1	1				
日蓮宗	6	3	1	4	5	2
日蓮正宗						1
法華宗（本門流）	1	1				
法華宗（陣門流）	1					
立正佼成会	2	2				
天理教	4	4	1	8	3	1
カトリック	5	3		3	2	
日本聖公会			2	1		
日本基督教団	6	7		6	1	
日本バプテスト教会連合	1					
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団		1		1		
救世軍	1	1				
日本フリーメソジスト教団			1			
日本伝道隊		1		1		
シャロームキリスト福音館		1				
日本キリスト教会		1				
プロテスタント（単立）		1		2		
合　　計	67	67	17	69	33	6

札幌矯正管区教誨師連盟

連絡先　札幌矯正管区教誨師連盟事務局
☎〇一一―七八三―三九三六

一　研修大会

第五二回札幌矯正管区教誨師研修大会（競輪公益事業振興補助事業）

（一）開催日　平成二八年六月七日（水）～八日（木）

（二）場　所　旭川グランドホテル

（三）参加者　約一〇〇名

（四）大会テーマ「希望へ！　―人と生まれたよろこびを育む教誨をめざして―」

（五）記念講演

「出会いに生かされて　―高齢者、障害者支援の中から感じたこと」

札幌刑務所福祉専門官　武内千保氏

（六）研究発表

ア　「いのちに合唱～すべての人に仏を見る～」

旭川刑務所教誨師会　釋英義師

イ　「毎回手探りの教誨活動」

帯広刑務所・帯広少年院教誨師会

桃井信之師

ウ　「教誨のあり方」

月形学園教誨師会　鶴原憲秀師

二　理事会等

定例理事会

（一）開催日　平成二七年一二月一四日

場　所　教化センター札幌別院

協議事項　平成二七年度活動・会計状況等

（二）開催日　平成二八年二月二九日

場　所　教化センター札幌別院

協議事項　平成二七年度活動・会計状況等

（三）開催日　平成二八年六月六日

場　所　旭川グランドホテル

協議事項　平成二七年度活動報告・決算等

三　札幌矯正管区教誨師連盟役員

〔平成二八年六月六日現在〕

会長	松本哲朗	（札幌刑務所教誨師会）
副会長	小澤眞了	（帯広刑務所・帯広少年院教誨師会）
同	細谷康麻呂	（月形学園教誨師会）
理事	柏川法潤	（旭川刑務所教誨師会）
同	藤井乗亮	（釧路刑務支所教誨師会）
同	梶原睦尚	（網走刑務所教誨師会）
同	相河孔明	（月形刑務所教誨師会）
同	渡邊眷龍	（函館少年刑務所教誨師会）
同	阿部正信	（千歳教誨師会）
顧問	黒田正宣	（札幌刑務所教誨師会）
監査	出倉恵隆	（札幌刑務所教誨師会）
同	安田肇善	（千歳教誨師会）
事務局長	天野広輝	（札幌刑務所教誨師会）

仙台矯正管区教誨師連盟

連絡先　仙台矯正管区教誨師連盟事務局
☎〇二二―二八六―三七一五

一　研修大会

第五八回仙台矯正管区教誨師研修福島大会（競輪公益事業振興補助事業）

開催日　平成二八年一〇月一三日（木）～一四日（金）

場　所　ザ・セレクトン福島

参加者　教誨師一二六名ほか

大会テーマ「希望へ！」

研究討議（グループ討議）

討議テーマ１　「被収容者は宗教教誨に何を求めているのか」

討議テーマ２　「教誨師として被収容者の心に刻みたいこと（ことば、作法等）」

記念講演

「被収容者の視点に立った宗教教誨を考える」

福島大学大学院教授　生島　浩　氏

二　定例理事会

（一）開催日　平成二八年三月一四日

場　所　仙台矯正管区

（二）開催日　平成二八年五月一二日

場　所　仙台矯正管区

（三）開催日　平成二八年一〇月一三日

場　所　ザ・セレクトン福島

三　仙台矯正管区教誨師連盟役員

会　長　井澤隆徳（山形県教誨師会）

副会長　伊達廣三（宮城県教誨師会）

理　事　高山元延（青森県教誨師会）

同　菊池了邦（秋田県教誨師会）

同　中野重孝（福島県教誨師会）

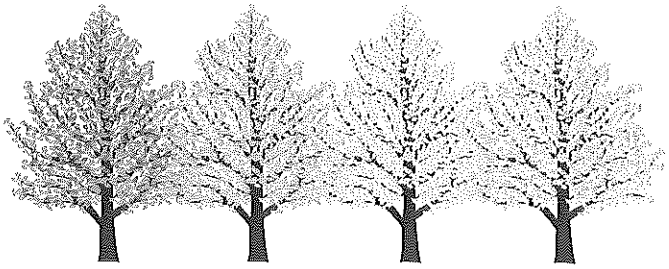
同　島地興霖（岩手県教誨師会）

事務局長　徳力賢隆（宮城県教誨師会）

顧　問　金平祖隆（福島県教誨師会）

監　事　小野良孝（宮城県教誨師会）

同　信楽度（宮城県教誨師会）



東京矯正管区教誨師連盟

連絡先　東京矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇四八―六〇―一六〇二

一　研修大会

（一）全国教誨師連盟六〇周年記念大会（第三六回全国教誨師大会併催）（競輪公益事業振興補助事業）

開催日　平成二八年九月六日（火）～七日（水）

場　所　東京都新宿区　京王プラザホテル

参加者　教誨師・施設職員・来賓他（約七〇〇名）

主　題　「希望へ！」

副　題　「生きぬく力の発見」

基調講演　「矯正の現状」

講　師　法務省矯正局長　富山　聡　氏

記念講演Ⅰ　「子ども虐待防止と臨床法医学」

講　師　杏林大学医学部名誉教授　佐藤喜宣　氏

記念講演Ⅱ　「『二度生まれ』の人生」

講　師　東京大学名誉教授　姜　尚中　氏

（二）第一四回東京矯正管区教誨師連盟課題別研修会

開催日　平成二八年一二月二日（金）

場　所　さいたま新都心合同庁舎二号館

参加者　刑事施設で活動する教誨師

主　題　「希望へ！」

副　題　「これからの教誨の礎として」

講　演　「矯正の現状について」

講　師　東京矯正管区第二部長　竹中　樹　氏

講　演　「刑事収容施設法施行後の刑事施設における教誨活動について」

講　師　龍谷大学法科大学院教授　石塚伸一　氏

シンポジウム

アドバイザー　龍谷大学法科大学院教授　石塚伸一　氏

パネラー　府中刑務所教育専門官　谷澤正次　氏

府中刑務所教誨師　芝田正順　師

府中刑務所教誨師　髙木俊乗　師

府中刑務所教誨師　鬼頭広安　師

府中刑務所教誨師　油谷弘幸　師

二　理事会・運営委員会等

（一）会計監査　五月二〇日（金）　さいたま新都心合同庁舎二号館

（二）定例理事会

第一回　五月二〇日（金）　さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回　平成二九年二月二三日（木）開催予定

（三）運営委員会

第一回　五月二〇日（金）　さいたま新都心合同庁舎二号館

第二回　七月二八日（木）　さいたま新都心合同庁舎二号館

第三回　一〇月七日（火）　さいたま新都心合同庁舎二号館

三　東京矯正管区教誨師連盟役員

会　長　中川文隆（府中）

副会長　旭　照愿（千葉）・岩田光哲（川越）

同　芝田正順（府中）・飯塚　重（水戸）

事務局長　竹岡郁雄（八王子）

事務局次長　高岡精司（府中）・藏田秀樹（千葉）

監　事　宮本賢昭（府中）・増田廣神（水戸）

（平成二八年一〇月末現在）

名古屋矯正管区教誨師連盟

連絡先　名古屋矯正管区教誨師連盟事務局
☎　〇五二―九七一―五九八四

一　研修大会

第六〇回名古屋矯正管区教誨師研修大会（平成二八年度永年教誨師研修大会）（競輪公益事業振興補助事業）

（一）開催日　平成二八年六月二一日（火）～二二日（水）

（二）場　所　下呂温泉　水明館

（三）参加者　教誨師ほか矯正施設関係者等　計八三名

（四）大会テーマ「希望へ！」
　サブテーマ「～『温故知新』～」

（五）基調講演
　演　題　「矯正における再犯・再非行防止の取組」
　講　師　名古屋矯正管区長　佐藤克巳氏

（六）研　修
　発表者一　鈴木超淳（岡崎医療刑務所）
　発表者二　星川佳信（三重刑務所）
　発表者三　多田文樹（福井刑務所）
　発表者四　延村茂憲（金沢刑務所）
　発表者五　公文名眞（富山刑務所）
　発表者六　岩水龍峰（岐阜刑務所）

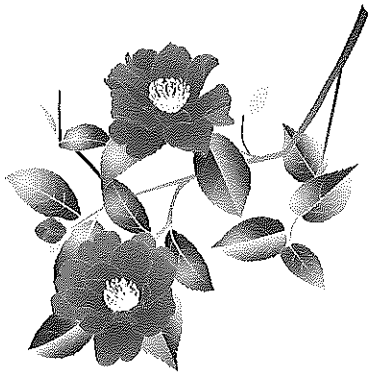
二　理事会の状況

定例理事会
平成二八年六月二〇日（月）　下呂温泉　水明館

三　名古屋矯正管区教誨師連盟役員

会　長　石川宣（愛知少年院）
副会長　松本昌丈（金沢刑務所）
同　楠原純孝（名古屋刑務所）
事務局長　加藤通幸（名古屋拘置所）
理　事　稲生隆信（富山刑務所）
同　日谷照應（金沢刑務所）
同　林精應（福井刑務所）
同　岩水龍峰（岐阜刑務所）
同　星川佳信（三重刑務所）
会　計　槇研治（名古屋刑務所）
監　事　森惠司（福井刑務所）
同　箕浦良信（笠松刑務所）

（平成二八年一二月一日現在）



大阪矯正管区教誨師連盟

連絡先　大阪矯正管区教誨師連盟事務局
☎ 〇六―六九四一―五七七一

一　第六四回大阪矯正管区教誨師研修会について

（一）開催日　平成二八年一一月一八日（金）

（二）場　所　琵琶湖ホテル（滋賀県大津市）

（三）参加者　教誨師一四〇名・他七五名　合計二一五名

（四）テーマ　「希望へ！」（メインテーマ）
「人は出遇いによって輝く。」（サブテーマ）

（五）内　容

ア　式　典

イ　表　彰

ウ　講　演　「生かされる命を見つめて」
講　師　浅　田　正　博　氏（龍谷大学名誉教授）

エ　班別座談会

二　会議について

（一）定例理事会

第一回　平成二八年六月一日（水）　大阪矯正管区会議室

（二）委員会等

ア　第三回規程委員会
平成二八年五月二日（月）　難波別院研修ホール

イ　平成二八年度第一回ボランティア委員会
平成二八年七月二七日（水）　大阪矯正管区会議室

三　今後の予定について

第二回定例理事会　平成二八年一一月一七日（木）

第二回ボランティア委員会　平成二八年一二月一二日（月）

第一回テーマ委員会　日程未定

第三回ボランティア委員会　平成二九年二月二日（木）

初任研修会　平成二九年二月一六日（木）

第三回定例理事会　平成二九年二月二〇日（月）

意見交換会　平成二九年二月二〇日（月）

四　大阪矯正管区教誨師連盟役員について

会　長　松浦　寛法（大　阪）

副会長　前阪　良憲（滋　賀）　時久　忠夫（姫路少）

事務局長　岩崎　慶昭（奈良少）

理　事　治田　義行（滋　賀）　坪井　道彦（京　都）

同　井上　廣（京都医療）　北畠　顯諒（和泉学）

同　明石　和成（播磨センター）　宮谷　泉（奈良少）

同　髙木　歓恒（和歌山）　山下　芳巖（和歌山）

監　事　髙木日出喜（京　都）　田中　瑞修（奈良少）

主　事　総務　松林　俊明（奈良少）

同　広報　墨林　浩（大阪医療）

同　会計　大本　和行（浪速少）

【任期　平成二九年三月三一日まで】

広島矯正管区教誨師連盟

連絡先　広島矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇八二―二二三―八二五二

理事　黒住昭子氏
理事　市原千代子氏

一　第四二回広島矯正管区教誨師研修大会（競輪公益事業振興補助事業）

（一）開催日　平成二八年六月二〇日（月）～二一日（火）
（二）場　所　リーセントカルチャーホテル（岡山市）
（三）目　的　肯定的な未来の創造と、心豊かで、よりよき人生を共に考えることにより、心の様相が育まれる教誨活動に資することを目的とする。
（四）テーマ　主題「希望へ！」
副題「自分と未来は変えられる」
（五）参加者　教誨師六四名・矯正施設職員等四七名
（六）式　典　広島矯正管区長　佐方雅典氏
（七）基調講演
演　題「矯正の現状」
講　師　広島矯正管区長　佐方雅典氏
（八）特別講演
演　題「吉備邪馬台国と桃太郎の知恵」
講　師　NPO法人公共の公益ラクダ会長　岡　将男氏
（九）記念講演
演　題「犯罪被害者支援組織の活動内容と現状及び被害後を生きるとは―当事者の思い―」
講　師　NPO法人おかやま犯罪被害者サポートファミリーズ

二　会議の状況について

（一）定例理事会
平成二八年二月二二日（月）開催
広島矯正管区第一教室
（二）定例理事会
平成二八年六月二〇日（月）開催
リーセントカルチャーホテル（岡山市）

三　広島矯正管区教誨師連盟役員

会　長　山根眞三（広島県教誨師会）
副会長　枝川円陽（岡山県教誨師会）
事務局長　高橋　哲（広島県教誨師会）
理　事　上杉宣章（鳥取県教誨師会）
同　山上光俊（島根県教誨師会）
同　原　真章（岡山県教誨師会）
同　森脇宗彦（広島県教誨師会）
同　吉木祥德（山口県教誨師会）
同　岸　康之（山口県教誨師会）
同　桑羽隆慈（山口県教誨師会）
主　事　小林克哉（広島県教誨師会）
監　事　奥村宏道（岡山県教誨師会）
同　佐藤元宣（広島県教誨師会）

高松矯正管区教誨師連盟

連絡先　高松矯正管区
教誨師連盟事務局
☎ 〇八七―八二三―一八六一

一　平成二八年度高松矯正管区教誨師研修会について（競輪公益事業振興補助事業）

（一）開催日　平成二八年六月二〇日（月）

（二）場　所　高松センタービル（香川県高松市）

（三）目　的　矯正施設における宗教教誨の充実を図るために、比較的経験年数の少ない教誨師を対象として研修を行う。

（四）参加者　教誨師三〇名、施設職員二四名

（五）主　題　「希望へ！」

（六）副　題　「生きる力を育む教誨をめざして」

（七）日　程

ア　式　典

イ　基調講演

演　題　「薬物依存症とその関わり方について」

講　師　岡山県精神科医療センター　佐藤嘉孝氏

ウ　研究発表

テーマ　「神様と共に育む教誨をめざして」

発表者　徳島刑務所教誨師　岩﨑道範師

テーマ　「心をみつめる」

発表者　高知刑務所教誨師　川﨑一洋師

テーマ　「対話を通して共に成長する」

発表者　丸亀少女の家教誨師　岡田真希師

二　会議の状況について

（一）各県教誨師会会長会

平成二八年三月九日（水）　高松矯正管区大会議室

（二）定例理事会

平成二八年六月二〇日（月）　高松センタービル

三　高松矯正管区教誨師連盟役員

会　長　田村正教（高松刑務所教誨師）

副会長　西村宗純（徳島県教誨師会長）

理　事　北嶋眞二郎（香川県教誨師会長）

同　松本信見（愛媛県教誨師会長）

同　長谷川隆嶽（高知県教誨師会長）

同　小角正二（徳島刑務所教誨師会長）

同　筑後誠隆（高松刑務所教誨師会長）

同　村上義英（松山刑務所教誨師会長）

同　藤山憲二（高知県教誨師会副会長）

同　藤井隆彦（丸亀少女の家教誨師会長）

同　加藤親平（四国少年院教誨師会長）

同　二神瑞隆（松山学園教誨師会長）

監　事　越智憲明（松山刑務所教誨師）

同　道願正美（高知刑務所教誨師）

事務局長　上野忠昭（高松刑務所教誨師）

事務局員　堀江孝一（高松刑務所教誨師）

〔平成二八年一〇月一日現在〕

福岡矯正管区教誨師連盟

連絡先　福岡矯正管区
教誨師連盟事務局
☎〇九二―七七一―九〇八一

一　研修会の状況について

今年度の研修会は、「施設研修会」を開催。

◎「第二〇回福岡矯正管区教誨師施設研修会」（競輪公益事業振興補助事業）

①開催日　平成二八年一一月八日（火）～九日（水）

②会　場　福岡刑務所（一日目）
　ホテル日航福岡（二日目）

③参加者　教誨師八六名・関係者一〇名

④大会テーマ「希望へ！」
　サブテーマ「不安からの解放に繋がる教誨」

⑤日　程
　第一日目　福岡刑務所施設概要説明
　　施設見学
　第二日目　講演「被害者からみた社会の理不尽さ」
　　講師　河野義行氏

二　福岡矯正管区教誨師連盟会議の状況について

◎定例理事会（各教誨師会会長・福岡矯正管区）

①日　時　平成二八年五月一〇日（火）一四時

②会　場　本願寺福岡教堂（連盟事務局）

◎臨時理事会（各教誨師会会員）

①日　時　平成二八年九月二日（金）一三時三〇分

②会　場　本願寺福岡教堂（連盟事務局）

◎代議員会（管内教誨師会会員）

①日　時　平成二八年一一月八日（火）一七時二〇分

②会　場　ホテル日航福岡

三　福岡矯正管区教誨師連盟役員

会　長　菊池慈峰（福岡教誨師会会長）
副会長　堤　暢之（佐世保教誨師会会長）
理　事　渡邊和弘（北九州地区教誨師会会長）
同　田中英康（佐賀県教誨師会会長）
同　吉谷大憲（長崎地区教誨師会会長）
同　薬師寺哲雄（大分県教誨師会会長）
同　山本多美男（熊本県教誨師会会長）
同　佐々木鴻文（宮崎県教誨師会会長）
同　髙橋格昭（鹿児島県教誨師会会長）
同　田中義弥（沖縄県教誨師会会長）
監　事　後藤法龍（熊本県教誨師会）
同　黒田幸裕（北九州地区教誨師会）
代議員　各施設の代表者一八名
事務局長　川﨑文丸（福岡教誨師会事務局長）
事務局員　藤春美穂（福岡教誨師会事務局員）

〔平成二八年一〇月三一日現在〕

浄土真宗本願寺派

連絡先　浄土真宗本願寺派社会部
（社会事業担当）
☎ 〇七五―三七―五一八一

○近況報告

浄土真宗本願寺派では、当派に属する教誨師・篤志面接委員等を会員として「浄土真宗本願寺派矯正教化連盟（以下、「本派矯正教化連盟」という。）」を組織しております。

本派矯正教化連盟では、平成三五年が本派教誨一五〇周年目となることから、「本派教誨一五〇周年に向けて、さらなる展望のもとに」を事業計画の目標として、平成二四年度から平成三五年度（四期一二ヵ年）までの中・長期計画を策定いたしました。昨年度より、第二次中期計画となり、総合テーマを「傾聴、自己変革への道」として、一・二年目に実務研修、三年目に全国研修大会を開催し、会員一人ひとりの研鑽を深める学びの場を積極的に開放・提供するものです。

今年度は、「実務研修」を平成二九年一月二五日から二日間、本山・西本願寺において開催を予定いたしております。テーマを「被収容者の思いを知る（教誨・面接活動の要）」としております。

まず基調講演では、龍谷大学客員教授の友久久雄師に、お話をいただき、続いてロールプレイングの実演の後、ロールプレイングを行います。二日目の部会では、基調講演を受けて今後どのように実践していくかなどについての意見を出し合います。最後に、全体協議会において、総括・意見発表を予定いたしております。

（今年度の主な事業）

○機関誌の発刊

本派矯正教化連盟では機関誌『教誨通信』を年二回発刊しております。本年度も、第四九号を特集「教誨・面接こぼれ話Ⅳ」とする教誨・面接活動での体験談（「心に残ったこと」・「聞いてほしいこと」・「失敗談・成功談」）及び第五〇号を実務研修の開催記録として発刊します。

○矯正展（キャピック展）の開催

平成一五年度から取り組んでおります本願寺境内における「矯正展」を今年度も実施しており、本年一〇月一日より始まりました第二五代専如門主伝灯奉告法要期間中にキャピック展（聞法会館 南側）を開催しております。明年一月九日から一六日まで、宗祖親鸞聖人のご命日にあたって、その御恩徳を報謝する「御正忌報恩講法要」期間中も、キャピック展とパネル展という形で開催する予定です。

○支部において

当派の定めております教区に「本派矯正教化連盟」の支部を設置しておりますが、その支部の相互連絡・連携を目的として矯正管区毎に「支部連絡協議会」を設けており、その「支部連絡協議会」主催のもと、管区毎に会員を集めて、研修会や協議会を実施しております。

○龍谷大学矯正・保護総合センターとの連携推進

平成二九年二月一八日に、京都駅の南側にある龍谷大学響都ホールにおいて、日本ダルク代表の近藤恒夫氏を講師に迎え開催される講演会「薬物依存からの立ち直りについて」に、宗派として後援します（無料。先着三百名。事前の申込みが必要です）。

○社会活動に寄与する宗門人との連携

平成二七年より、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献することを基本理念とする宗門総合振興計画が始まりました。このなかで、仏教の精神に基づく社会への貢献として、社会活動に寄与する宗門人のネットワークの構築を図っております。

真宗大谷派

連絡先　真宗大谷派教育部
☎ 〇七五―三七―九一九三

真宗大谷派教誨師会の現況

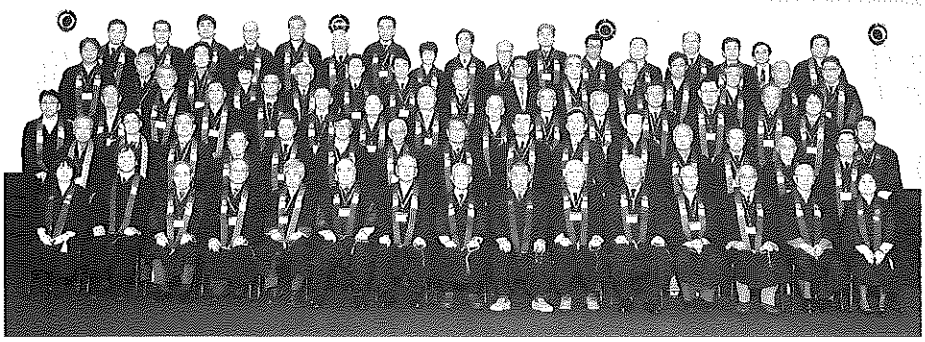
一　第五八回「真宗大谷派教誨師会研修会」

真宗大谷派の教誨師・篤志面接委員によって構成される真宗大谷派教誨師会（里雄康意会長）では、研修会を毎年実施している。

今年度は、五月一一日から一二日にかけて、第五八回真宗大谷派教誨師会研修会を「真宗の教誨―本願の浄土」のテーマのもと真宗本廟（本山・東本願寺）内の真宗教化センターを会場（二〇一五年七月から稼働）に開催し、全国から七六人の教誨師・篤志面接委員が参加した。

真宗大谷派教誨師会では、真宗教誨の視座として「本願の浄土」を疑う「罪」として「真宗の罪悪感」の学びを深めてきたが、その学びを通して、本多弘之氏（親鸞仏教センター所長）から「共に「罪悪深重の衆生」を「慶喜心」をもて生きよう」の講題のもと講義が行われた。

また、日程中には物故者追弔会並びに全体協議会などが行われたほか、四月一四日発生した熊本地震で被災された熊本県の教誨師から現状の報告が行われた。それを受けて当日研修会に参加した方をはじめ真宗大谷派教誨師会から救援金を九州連区教誨師会に手交した。なお、委員の任期満了に伴う次期委員の選出及び副会長の互選が行われた。



全国から集まった教誨師・篤志面接委員

二　真宗大谷派教誨師会役員（●印は執行委員）

会　長　里雄康意（宗務総長）
副会長　三島多聞（教育部担当参務）
　　●中村昌之（東京）
委　員　阿部正信（北海道）　新羅興正（山形）
　　●新田格淨（東京）　坂本敏明（金沢）
　　●石川宣（岡崎）　玉井了（名古屋）
　　●治田義行（京都）　●北畠顯諒（大阪）
　　●墨林浩（大阪）　郵上了圓（山陽）
　　古賀裕法（久留米）　尺一賢正（熊本）
監　事　沙加戸明（京都）　乘田久子（大阪）
　　【任期　二〇一六年七月一日～二〇一八年六月三〇日】

三　会報の発行

真宗大谷派教誨師会では会報『真宗教誨』を年三回発行しています。

真宗大谷派教誨師会委員会公開学習会のお知らせ

このたび左記のとおり、公開学習会を開催いたしますので、是非、ご来聴くださいますようご案内いたします。

記

1　日時　二〇一六年一二月一三日　一五時三〇分～一七時
2　会場　真宗大谷派宗務所　三階（議場）【京都東本願寺内】
3　講師　堀和幸氏・長谷川正浩氏（日本弁護士連合会）

天理教教誨師連盟

連絡先　天理教布教部社会福祉課
☎　〇七四三―六三―一五一一

〈事業報告〉

◇天理教教誨師・篤志面接委員大会

平成二八年八月二六日　　参加者九一名

連盟では、天理大学ふるさと会館を会場に大会を開催した。今年一月二六日「教祖一三〇年祭」が、天理教教会本部に於いてつとめられたが、その前三年間は教祖一三〇年祭三年千日活動の中で、本連盟の重点活動として全国八矯正管区で、「ブロック研修会」を実施してきた。各ブロック研修会では、講義やパネルディスカッション、施設見学等を通して「天理教教誨師・篤志面接委員」としての心構えを学ぶとともに、地域に於けるネットワークづくりを進めてきた。

この大会は、三年千日活動の集大成として会員が一堂に会し、今後の活動に一層拍車を掛けようとの目的で開催した。

当日の式典では、井上廣同連盟委員長の式辞、松村義司布教部次長の挨拶に続き、近藤哲城・公益財団法人全国教誨師連盟理事長の祝辞を、平野俊興・前同連盟理事長が代読され、続いて来賓の祝辞は山本孝志・京都刑務所長が祝辞を述べられた。宮地重光・奈良少年刑務所長、倉繁英樹・奈良少年院長にもご臨席頂いた。続いて、板倉知幸・社会福祉課長が挨拶を述べ、最後に、二〇年以上勤めた教誨師二七人（平成二四年以降の退職者を含む）が表彰された。

式典後の記念講演では、「教誨師の活動と課題」と題して、平野俊興氏が講演。その中で、「天理教に『おぢばがえり』という言葉があるように、『おかえりなさい』という言葉で、被収容者の心に〝帰れる場所〟を認識させることが大切。一緒にご飯を食べたり寝たりする、安心できる居場所をつくることが、教誨師の活動だと思う」と、話を締めくくられた。

◇おやさと研修会

平成二八年二月二五日　　参加者六七名

講義　「世界の教誨師事情」

講師　アダム・ライオンズ氏

（ハーバード大学院博士課程在学中、早稲田大学大学院嘱託研究員）

ねりあい（協議会）

◇教誨師連盟総会

平成二八年四月二五日　　参加者五三名

平成二七年度事業報告、会計報告、ブロック研修会まとめ報告・案内、ねりあい（協議会）

◇「教誨師連盟だより」第一六号発行（五月二六日）

◇新任教誨師研修会（篤志面接委員含む）

平成二八年一一月二五日

講義　「矯正施設が宗教教誨・篤志面接委員に期待すること」

講師　連盟　小澤直樹　常任委員

講義　「天理教教誨師のつとめ」

講師　連盟　井上　廣　委員長

修了証書授与

◇その他

天理教表統領より新任教誨師に辞令交付（随時）

常任委員会・委員会開催（随時）

曹洞宗教誨師連合会

連絡先　曹洞宗宗務庁教化部布教課
☎　〇三―三四五四―五五六〇

◎曹洞宗教誨師連合会について

曹洞宗は、全国の矯正施設に従事している教誨師を曹洞宗教誨師として任命し、それに加えて篤志面接委員を会員に「曹洞宗教誨師連合会」を組織しております。

創立は、昭和三九年（一九六四）年であり、大阪矯正管区で開催された「第一〇回全国教誨師大会」を契機に組織され、平成二六年には結成五〇周年を迎え、各矯正管区毎に支部を置き、現在の会員数は一五八名です。（平成二八年一一月一日現在）

会の運営は、矯正管区毎に委嘱された理事を中心に行っており、その目的は、教誨事業の向上発展を期し、併せて会員相互の緊密なる連繋と親睦を計ることです。この目的を達するために、教誨儀礼の研究、研修会や懇談会の開催などの事業を行っております。

また、研修会での講義録を各会員に配布して自己研鑽に役立てていただいており、さらに新任の会員には、特に当会作成の『曹洞宗教誨師マニュアル』を用意しております。

その他、教誨師、篤志面接委員、または各矯正施設に対し、曹洞宗の月刊誌『禅の友』の配布、さらに、坐禅の際に使用する坐蒲（坐禅用の丸い綿入りの座布団）や、お経本などを寄贈し、教誨活動に対する支援を多岐に渡り行っております。

◎今年度の活動状況について

今年度は一〇月一一日から一二日の一泊二日の日程で、東京グランドホテル（曹洞宗檀信徒会館）を会場に、薬物問題に関して、実際に薬物を使った方を前に、教誨師としてどのように接すればいいのか、ということをテーマに、平成二八年度曹洞宗教誨師連合会研修会・総会が、四〇名の参加者を得て開催しました。

会の会長である釜田隆文宗務総長による開会式が行われ、引き続き日本ダルクより、「薬物依存症者の孤立化を防ぐ」と題し、代表の近藤恒夫氏とスタッフの田代まさし氏から、薬物依存に陥った人の苦しみと、刑務所の中で強制的に薬物を絶つことよりも、罪を償い、出所した後の社会的、精神的なケアについて考えていくことが大切であること等についてご講演をいただきました。

講演後総会が開かれ、つづいて班別会があり、各参加者から「曹洞宗の教義を尊重しつつ、どのような教誨活動を行っていくのか」というテーマに沿って、活発な意見が途切れることのない会となり、その後懇親会を催し、第一日目の日程を終了しました。

第二日目は、警視庁組織犯罪対策第五課銃器薬物対策第一係の警部補、城所嘉久氏と、同じく第二係の警部補、山下知哉氏をお招きして「薬物乱用の危険性と薬物犯罪の現状」と題して、薬物の恐ろしさ、薬物に関わらないようにする対策法についてお話しいただき、また、実際にどのような見た目をしているのを、精巧な模型の展示を交えながら、会員との対話形式でのご講演をいただきました。その後、今年度の研修会は閉会となりました。

一泊二日という限られた日程ではありましたが、会員にとって今後の教誨活動と布教教化の一助となる、有意義な研修会となりました。

曹洞宗、および当会は現在社会において、教誨活動を重要な社会教化の一つとして捉え、被収容者の更生と、社会復帰の一助となるよう、引き続き更なる支援をしていく次第でございます。

神社本庁

連絡先　神社本庁教化広報部教化課
☎〇三―三三七九―八〇一一

一、組織

神社本庁では、独自の教誨師団体は組織してをらず、神社本庁統理の委嘱により各都道府県の神社庁に神社本庁教誨師が駐在（一期三年）し、教誨活動を行ってゐる。神社本庁教誨師が駐在してゐる県の神社庁に対し、年一回の活動報告書の提出を求めてゐる他、教誨師に対し、事務報告書や活動報告書の作成等も依頼してゐる。

教誨師全般についての事務は教化広報部教化課が所管してをり、教誨師の任命、神社庁並びに教誨師からの報告書取り纏め等の事務をはじめ教誨師研究会、教誨師養成研修会等の関係諸会合を開催し、関係団体との折衝にあたってゐる。

また、教誨活動に資するべく教化資材等を作成し、関係機関に寄贈してゐる。

尚、東京都神職教誨師会、北海道地区神社庁駐在教誨師会（札幌矯正管区）、仙台矯正管区内神社本庁教誨師会（仙台矯正管区）、高松矯正管区内四国神社本庁教誨師会（高松矯正管区）がそれぞれ地元教誨師により自主的に組織されてをり、種々の活動を行ってゐる。

二、神社本庁教誨師研究会について

神社本庁では、昭和二五年より毎年、教誨師研究会を開催してゐる。

本年は、八月二三、二四日の両日、京都市において、神社本庁教誨師、本庁教誨師補助員など四四名の参加を得て「出所者の円滑な社会復帰に向けて」をテーマに開催した。

一日目は京都市内のホテルを会場に、千房株式会社専務取締役中井貫二氏が「経世済民・共に育つ～職親プロジェクトについて～」、続いて京都刑務所分類教育部長の石田陽子氏が「再犯防止と刑の一部執行猶予制度について」と題してそれぞれ講演を戴いた。講演に引き続き、全体会を実施し、「本研究会に今後取り上げるべき課題」「教誨師後継者の育成」「教誨全般について抱へてゐる問題」の三点に焦点をあてた意見交換がなされた。

二日目は、京都市上京区の北野天満宮に正式参拝の後、京都市山科区の京都刑務所を視察した。京都刑務所では講師の石田陽子氏より平安時代に端を発する京都刑務所の歴史や、収容者の現況の説明を受けた後、所内の運動施設や工場、居住施設を巡回して詳細な案内を受けた。

三、神社本庁教誨師の養成について

神社本庁では、教誨師の更なる充実を目指すとともに、教誨師の後継者養成を目的とすべく、平成一九年より「教誨師補助員」の制度を設けてゐる。本庁教誨師補助員は将来教誨師になることを期待されてゐる人材を各都道府県神社庁長が委嘱するもので、同補助員に対しては各種会合への参加も呼びかけてゐる。

制度開始から間もなく十年になるが、教誨師補助員を経て神社本庁教誨師に任命される事例も増えてきてゐる。同制度は徐々に定着してきてをり、後継者問題解決の一助となってゐる。

浄土宗

連絡先 浄土宗教誨師会
☎ 〇三―三四三六―三三五一

浄土宗教誨師会は全国で一四〇余名を有し、七二施設で教誨に取り組んでいます。

組織としては、全国を北海道から九州までを八ブロックに分け、ブロック研修会を都道府県持ち回りで年一回開催しています。

また浄土宗教誨師会として六月に八ブロックの一カ所を回り、八年間で全国を一周する「浄土宗教誨師研修会」を一泊二日で開催、一二月初旬には京都知恩院会場と東京増上寺会場で、隔年京都は教誨師会担当で、東京は保護司会担当で「中央研修会」を毎年開催しております。

本年度の「浄土宗教誨師研修会」は六月七日・八日、東海地区の担当で岡崎ニューグランドホテルを会場として開催しました。講師は中京大学教授 平川宗信 氏で、「教誨とは何かを考える―刑事法研究である一念仏者として―」、もう一コマは東海学園大学教授 古市 勲 氏による「浄土宗と徳川家―経済的視点から―」の講題で講演を拝聴しました。翌日は平成二八年度の総会を開催し、平成二七年度の事業報告及び収支決算報告、平成二八年度の事業計画案、収支予算案が承認されました。

地区研修会は

北海道地区、東北地区、東海地区、中四国地区、九州地区は未定です。

関東地区は、平成二八年五月一六日に、石和温泉旅館「喜仙」にて山梨ダルク本部ＤＳＣ 佐々木 広 氏より「依存症という病」、また、甲府刑務所所長 佐藤 登 氏より「いま、刑務所は国民に何をもとめられているのか」（日本の刑務所の歴史を振り返りながら…）を拝聴しました。

北陸地方は、平成二九年二月に富山にて開催予定です。

近畿地区は、平成二八年七月一三日に「和歌山刑務所参観」と和歌山県ＪＡにて、和歌山刑務所教誨師・山下芳巌師、福井浄堂師よりご自分の教誨をお話しくださいました。

会議としては、常任理事会年二回、理事会年一回開催をしています。

その他、監査会、機関誌の年一回発行などの活動をしています。

日蓮宗

連絡先　日蓮宗教誨師会事務局
☎ 〇七〇―五三五五―九八五六

日蓮宗教誨師会は平成二八年に創立五〇周年を迎えることとなり、平成二八年六月二〇日、日蓮宗宗務院に於いて日蓮宗教誨師会五〇周年記念東京大会を開催し、特別研修として氷見市地方創生アドバイサー（妙法寺住職）高野誠鮮師による「可能性の無視は最大の悪策」と題して講演をして頂きました。その後、シェラトン都ホテル東京に於いて諸関係の方々をお招きして祝賀会を開催することが出来ました。翌日には東京拘置所施設見学をさせて頂き研修を行うこともできました。関係各聖に心より御礼申し上げます。

日蓮宗の教誨の歴史は、新居日薩師が明治六年に千葉監獄における日蓮宗最初の教誨師に任じられ、日蓮宗教誨師の始祖と讃えられております。その後も多くの先師たちによって教誨が行われてきました。教誨師をされておられた先師たちによって日蓮宗教誨師会が発足したのが昭和四一年のことであり平成二八年で五〇年を迎えることとなりました。現在一二〇名余の教誨師が所属しており、平成二七年には小林順光宗務総長より全ての教誨師に対して教誨師証明書を下附され、教誨師推薦規程による教誨師推薦書を宗務総長名で出して頂けることとなりました。

日蓮宗宗門内に於いては全国社会教化事業協会連合会の一団体として位置付けられており、総会並びに連絡会議等へ参加することにより連携を図り、日蓮宗の社会活動事業の一端を担っております。

また、全国教誨師連盟と連携を図るべく、宗団代表者との懇談会にも参加させて頂いております。今年度は「宗団代表者との連絡協議会（東京部会）」（昨年度までは「在近京宗団代表者との懇談会」）が会場担当日蓮宗ということでしたので、日蓮宗宗務院に於いて平成二八年一〇月一八日に開催されました。懇談会の後、池上本門寺も簡単ではありますが案内させて頂きました。

日蓮宗教誨師会五〇周年を迎え、各教誨師が更に研鑽を積み、教誨対象者が一日も早く反社会的行為を心底から反省し更生して、国の一員として分業に従事し、国民の義務を果たすよう力強く活動いたして参りたいと存じます。

平成二八年度の主な事業

・日蓮宗教誨師会五〇周年記念東京大会
（平成二八年度第五〇回総会・平成二八年度特別研修）
平成二八年六月二〇日・二一日、於日蓮宗宗務院・他
講演　「可能性の無視は最大の悪策」
講師　氷見市地方創生アドバイサー・妙法寺住職　高野　誠鮮　師

平成二七年度の主な事業

・平成二七年度第四九回日蓮宗教誨師会総会秋田大会
平成二七年六月三日・四日、於秋田キャッスルホテル・他
講演　「お題目に生かされて」
講師　秋田県本住寺寄在　金子　寛道　師

・平成二七年度日蓮宗教誨師会特別研修
平成二七年一一月二六日、於日蓮宗宗務院
講演　「日蓮宗教誨師の姿勢」、討議　「赦しと償いと教誨」
講師　栃木刑務所教誨師　池田　玄徳　師

金光教教誨師会

連絡先　金光教教誨師会
☎ 〇八六五―四二―三一一一

金光教教誨師会におきましては、現在六六名の教誨師が、五一カ所の矯正施設に出仕させていただいております。

平成二八年度においては茨城県つくば市、名古屋市、岩国市、別府市と、全国四つの会場において、それぞれに施設参観をはじめ、教誨実施に関わっての問題点等の検討協議、出席者による「ある日の教誨」、また、就業支援員をされている方から就業支援の現状などを通して、研修を図り教誨の資質の向上を図ってまいりました。

また、一方に金光教の教師育成機関である金光教学院においては、金光教教師として育っていかれる方々に対し、教誨活動への理解と、新たな教誨師の育成を願ってゼミナールを開催いたしました。

平成二九年度におきましても、活動の中心は相互研鑽に置き、三月七日～八日にかけて金光教本部を会場に開催される、総会並びに研修会において、教誨活動を充足させるべく各種協議を行うほか、講演並びに参加者による「ある日の教誨」を実施することによって、教誨師一人ひとりの教誨姿勢並びに教誨内容の充実を図って参りたいと思っております。

また、その後四つのブロックにおいては以下のように研修会並びに施設の参観を予定しております。

第一ブロックにおいては、五月二九日～三〇日にかけて前橋市において研修会。

第二ブロックにおいては、六月一六日に兵庫県において研修会。

第三ブロックにおいては、七月一二日～一三日にかけて広島県において研修会。

第四ブロックにおいては、七月六日～七日にかけて鹿児島県において研修会。

とそれぞれに研修会を実施いたします。研修会の内容としては、参加者による『ある日の教誨』の実施をはじめ、教誨実施上の各種問題点などについての意見交換、より効果ある教誨実施上の各種アイデアの交換などを、それぞれのブロックの実情に合わせ一日型、また一泊二日型にて実施いたします。

そのほかの活動としましては、年頭祈願祭を全国一五か所の施設において実施させていただきます。

また、本年も金光教の教師育成機関である金光教学院において、教誨活動への理解とともに、新たな人材の育成を願い講習会の実施を予定いたしております。

また、平成三〇年に迎える金光教教誨師会設立四〇年に向けて、教誨教話集の刊行の準備をさせていただいております。

金光教の教祖は「人の身が大事か、わが身が大事か。人もわが身もみな人」、「天が下に他人ということはなきものぞ」と教えてくださっております。このみ教えを大切に本年も、教誨活動のご用を進めてまいりたいと思います。

金光教教誨師会長　畔柳　俊雄

天台宗

連絡先　天台宗教誨師会
☎〇七七―五七九―〇〇二二

天台宗教誨師会の現況

天台宗教誨師会は、矯正施設の教誨師並びに篤志面接委員である天台宗の教師を以て組織しております。昭和四四（一九六九）年五月一〇日に発足し、現在三八名の会員が所属しております。

会の目的は、天台宗の教義に基づき、矯正施設における教誨の充実と会員相互の研修・親睦を図り、教誨師並びに篤志面接委員の養成につとめることであり、天台宗教義の近代化と実践、教誨経験の交流及び調査、会員相互の連絡、官庁並びに天台宗務庁その他関連機関との連絡協調などを課題として、年に一度、総会・研修会を開催しております。

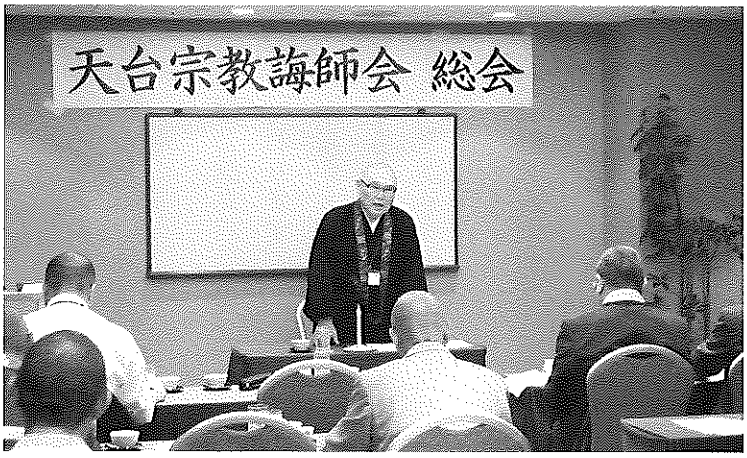
また、宗内における教師並びに寺族の教誨活動への理解を深めるため会報『天台宗教誨師会々報』を年に一度発行しております。

平成二八年度事業について

平成二八年度総会・研修会は、五月二六日（木）～二七日（金）、東京都渋谷区のサンルートプラザホテル新宿並びに府中刑務所を会場に開催いたしました。一日目は、府中刑務所の視察を実施。府中刑務所の担当者から、施設の概要と課題について説明を受け、作業施設、教誨施設などを見学しました。夕刻には懇親会を開催し、会員相互の情報交換を行うと共に親睦を深めました。

二日目はサンルートプラザホテルにて総会を開催。今年度の事業計画、予算案の審議のほか、平成三一年に天台宗教誨師会創立五〇周年を迎えるにあたり、記念事業について意見交換を行いました。また総会後には会員による教誨事例発表を実施いたしました。本年度は長宗順師（前橋刑務所、榛名女子学園）と関純真師（喜連川社会復帰促進センター）の二名が発表者を務め、実際にどのような教誨活動を行っているのか具体例を挙げて説明がなされ、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

天台宗教誨師会では、教誨師の寺族の研修参加を認めており、本年も住職婦人が数名参加しました。今後も会員相互の情報交換や教誨活動に役立つ研修会を開催していきたいと考えております。



総会にて挨拶する小山健英会長

天台宗教誨師会　役員紹介

会　長　小山健英（長野刑務所）
副会長　谷　晃昭（前橋刑務所）
同　浅野玄航（千葉刑務所）
理　事　野中玄雄（宮崎刑務所）
同　吉田実盛（加古川刑務所）
監　査　桑谷祐顕（姫路少年刑務所）
同　植竹徳道（千葉刑務所）

全キリスト教

連絡先　全キリスト教教誨師連絡協議会
☎ 〇九二―五七五―三八二二

全キリスト教教誨師連絡協議会は、日本基督教団教誨師、カトリック教誨師を中心に四一の団体と教会に属する教誨師二六三名（二〇一六年二月末現在）によって構成され、二〇〇二年熊本において開催されました第二九回全国教誨師大会の折に発足し現在に至ります。会の目的は、全国のキリスト教教誨師の交流をはかり、その教誨活動を支援することにあります。特に二〇一六年度と二〇一七年度は八管区内の教誨師の研修と交流及び地区教誨師会組織の充実のために予算を立て支援することになりました。

総会は二年に一回、全国教誨師大会と合わせて行っています。今年度は九月五日、第三六回全国教誨師大会（東京）時に四四名の出席で行われ、次の事項が承認され、各地区教誨師会からの報告、体験発表の機会を持ちました。

1　二〇一四年度～二〇一五年度の事業報告と決算報告
2　二〇一六年度～二〇一七年度の事業計画と予算
3　規約改正の件
4　役員改選の件

会　長　荻　喜代治（広島）
副会長　深山　祐（東京）
同　生野　隆彦（東京）
同　時久　忠夫（大阪）会計兼務
書　記　大庭　力（福岡）事務局
監　事　鈴木　眞（大阪）
同　小寺　隆（東京）
地区委員
札幌　山形浩之
仙台　川上直哉
東京　小野團三
名古屋　佐野敏和
大阪　岸本光子
広島　月下美孝
高松　福田　哲
福岡　松崎義治

5　八地区教誨師会の現状と課題等の主な報告（要旨）

・教誨師の解嘱と委嘱時の引き継ぎに課題がある。
・参加者が少なく交流が難しい。
・年一回、一泊二日の研修会を開催し研修と交流を図っている。
・研修会に多くの教誨師が経済的理由で参加できない課題がある。
・二〇一六年二月にダルクより講師を招いて研修会を行う。

6　体験発表　福田　哲　教誨師「丸亀少女の家」

その他、二〇一六年二月、会報「資料・報告書」第二号を作成し全教誨師に配布しました。

２０１６年度総会出席者

全真言宗教誨師連盟

連絡先　全真言宗教誨師連盟事務局
☎ 〇三―三九四五―三九〇〇

○役員紹介（平成二七・二八年度）

会　長　二神瑞隆　真言宗豊山派
副会長　小池弘三　真言宗須磨寺派
同　和田大雅　真言宗御室派
幹事長　原　豊壽　真言宗智山派
事務局長　岩﨑榮勝　真言宗豊山派
会　計　髙岡精司　真言宗豊山派
監　事　麻生章雄　真言宗醍醐派
同　吉田正裕　真言宗御室派

○活動内容

現在一六一名の会員にて、各矯正管区施設に於いて、教誨活動を行っています。

役員任期は二年で、各山より選出の理事三一名にて、理事会を構成しています。

年二回の理事会と年一回の総会・研修会を開催し、本会の更なる充実の為、事業・会計等の審議、会員の実務の練達、適格者の推薦・要請等に努力しています。

近年は事務局担当宗派を高野山真言宗、真言宗智山派、真言宗豊山派の三派で、役員改選と共に交替しており、今年度は豊山派が担当しています。

また、平成九年より、機関誌『遍照』を年刊で刊行しています。

平成四年に発行された『真言宗教誨師手帳』を、本年三月三一日に改訂発行いたしました。

○第五五回全真言宗教誨師連盟大会　報告

当連盟では、会員相互の実務研修の為、真言宗各派総大本山の寺院を会場として、年一回の大会を開催しています。

昭和三五年の結成以来、第五五回大会となる本大会では、会場を真言宗善通寺派・総本山善通寺に於いて、平成二八年一〇月一一日、一二日の二日間に亙り開催いたしました。

大会テーマを『同行二人』とし、一一日には総会並びに真言宗善通寺派管長・総本山善通寺法主　樫原禅澄猊下による『お大師さんが罰をあてる』という研修会を行い、翌一二日には、講師にノンフィクション作家・高野山真言宗僧侶　家田荘子先生をお招きし、『一緒に生きていきましょう～あなたの愛を求めています～』という演題の記念講演を行いました。

平成二九年秋季には、第五六回大会を大本山須磨寺に於いて開催する予定です。

あとがき

◆『教誨師連盟だより』№五二号をお届けいたします。◆平成二八年もいろいろなことがありました。熊本大震災、相模原障害者施設殺傷事件をはじめ、いじめや虐待などの悲惨な記事を多く目にしたような気がします。そのような反面、朗報もありました。リオデジャネイロオリンピックでは、日本人選手が活躍して、今までのオリンピックの中で最高数のメダルを獲得することができました。四年後に開催されます東京オリンピックでは、私たちが応援する中で、日本人アスリートが大活躍してくれることを期待するところです。◆事務局で仕事をさせていただいて間もなく二年になります。まだまだ要領が悪くミスが多く、教誨師の皆さま方にはご迷惑をお掛けしております。今後は努力を重ねまして、ご迷惑のかからないように頑張っていきたいと思っております。教誨師の皆様方におかれましてはご健康に留意され、今後益々のご活躍をお祈りいたしております。来る新年もよろしくお願いいたします。

（事務局　佐藤）